

都市再生整備計画 事後評価シート  
輪島中央地区

平成28年3月

石川県輪島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	輪島市		地区名	輪島中央地区			面積	156ha	
交付期間	H23～H27		事後評価実施時期	H27		交付対象事業費	2087	国費率	48%			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路(河井海岸線ほか8路線)、地域生活基盤施設、高質空間形成施設、高次都市施設								
			提案事業	まちづくり活動推進事業								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	高質空間形成施設(鳳来山公園、鴨ヶ浦遊歩道、天神山遊歩道)	他事業により整備を行ったことから削除した。			他事業により整備を実施したためまちづくりの目標達成に関し影響がなく目標も指標も据え置く。				
			提案事業	-	-			-				
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(市道みなと線ほか1路線)、地域生活基盤施設、高次都市施設、中心拠点誘導施設	観光交流や定住促進に資する施設を新たに建設する必要が生じたことから追加した。			まちづくりの目標達成に関してプラスの影響があるが目標も指標も据え置く。				
			提案事業	地域創造支援事業	観光交流に資する施設を新たに建設する必要が生じたことから追加した。			まちづくりの目標達成に関してプラスの影響があるが目標も指標も据え置く。				
	交付期間の変更		当初	H23～H27		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-			
変更			-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	観光入込客数の減少率	%/年	4.6	H21	4.0	H27	△5.8	△25.0	○	あり なし	各種施設の整備で観光地としての魅力が向上したことに加え、北陸新幹線金沢開業やNHK連続テレビ小説「まれ」放映の効果もあり、減少率を抑えとしていた観光入込客数が1ヶ月を残して25%の増加に転じた。
	指標2	交流イベントの開催回数	回/年	21	H21	25	H27	23	26	○	あり なし	
指標3	地区内人口(社会動態)の減少率	%/年	0.8	H21	0.6	H27	0.5	0.6	○	あり なし	各種施設の整備により地区内のアクセス向上、交流機会の増加を図ることで住みやすいまちづくりを推進した結果、目標を達成することができたと考えられる。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	マリンタウン活性化協議会を設立し、マリンタウンを中心とした各種の活動を展開している。特に豪華客船の受け入れの際には協議会を中心として市民あがりの歓迎迎を実施。乗船客や船会社等からは、「日本一の歓迎迎」との評価を受けるまでになっているほか、マリンタウンを中心に開催されるあわび祭りやかに祭り、市民祭り等の交流イベントを目的に、全国から輪島を訪れる観光客が増えている。											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング		指標にかかる数値の把握				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後同様に把握していく予定。	
	住民参加プロセス		各要素事業において設計段階から地域住民の意見を反映できるよう意見交換会等を開催した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 整備した施設の維持管理等においても、住民参加で実施できるよう取り組みを行う予定。	
持続的なまちづくり体制の構築		マリンタウン活性化協議会を組織し、利活用に関する取り組みを実施した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● マリンタウンを中心とした地区内の活性化に向けた取り組みを継続して実施する予定。		

## 様式2-2 地区の概要

### 輪島地区(石川県輪島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 快適で賑わいのあるまちづくり 目標1 人が集い交流が盛んな賑わいのあるまちづくり 目標2 誰もが住みたいと思う快適なまちづくり	観光入込客数客数の減少率	単位: %/年	4.6 H21	4.0 H27	△ 25.0 H27
	交流イベントの開催回数	単位: 回/年	21 H21	25 H27	26 H27
	地区内人口(社会動態)の減少率	単位: %/年	0.8 H21	0.6 H27	0.6 H27

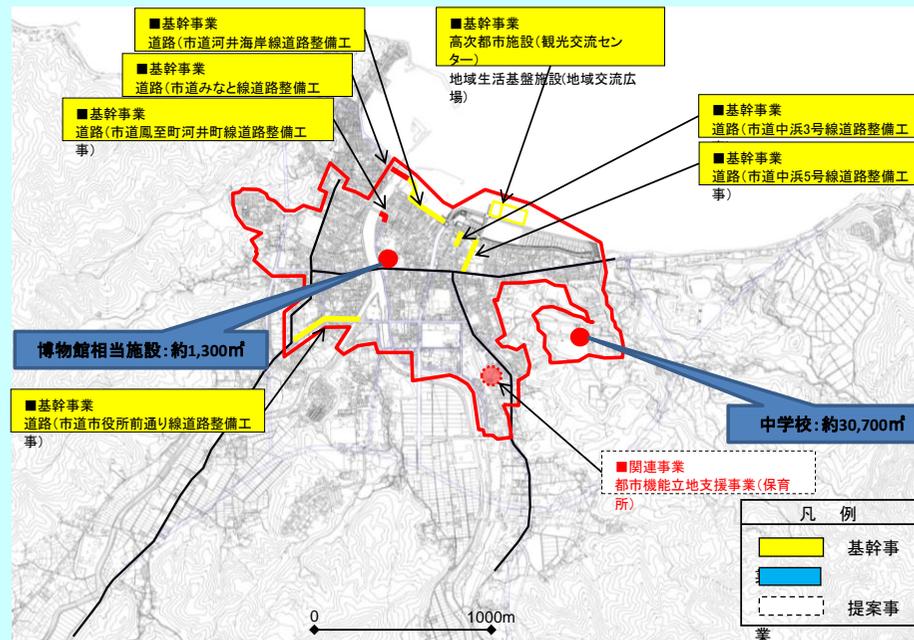
観光交流センター



博物館相当施設



中学校(2期計画継続)



地方道



保育所(都市機能立地支援事業)



博物館相当施設: 約1,300㎡

中学校: 約30,700㎡

関係事業

まちの課題の変化 当初は、観光入込客数や交流機会を増加するための施設の利活用や交流イベントの実施、アクセスの向上等が課題としてあげられていたが、事業の実施により市街地の回遊性が向上し、各拠点施設や周辺地区へのアクセスが容易となったほか、輪島の祭文化や輪島塗の魅力に触れる施設を整備したことで輪島朝市を目的とした午前以外にも午後の滞在を楽しむ環境が概ね整ったことから、観光入込客数や交流機会が増加したと考えられる。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) 観光交流人口や交流機会の増加に資するまちづくりは必要であり今後も継続する必要がある。各施設の魅力の向上を図るためイベントの実施やPR等、ソフト面を充実させることにより、事業の効果を継続させる。これまで整備した施設の利活用による賑わいの創出とあわせて、将来人口を見据えた公共施設の再編や公共空地の有効活用、公共交通との連携を図ることによりコンパクトシティプラスネットワークを推進する。以上の方策を中心に課題や目標を計画化することにより総合的なまちづくりを実施する。